



編集・発行
日蓮宗 能勢妙見山
広報部
〒563-0132
大阪府豊能郡能勢町野間中
電話 072-739-0329
FAX 072-739-2883

新春のお慶びを申し上げます 世界の平和と皆様のご多幸をお祈りします

本年も『妙乃見山』をおとどけします
行事のご案内やその謂われ、季節の境内写真なども掲載します
仏教の教えに触れていただく法話も用意しています
月一度の発行ですが、お手に取り読んでいただければ幸いです

【1月の主な行事】

- ☆正月歳始祈禱 1日～15日
- ★書き初め写経会 8日(日) 11時
- ★清掃の日 15日(日) 11時
- ★月例祈願法要 15日(日) 13時

妙見様のご縁日祈願法要 開運殿にて厳修

- ★鷓鴣月例祭 22日(日) 15時 火伏せ守り札授与

【2月の行事予定】

- ☆節分会星祭 3日(金)

一年間の善星皆来・悪星退散を祈ります
ご祈禱の申し込み受付中です

- ☆国持会くお火焚祭りく 11日(祝) 10時法要

- ★写経会 12日(日) 11時

- ★清掃の日 15日(水) 11時

- ★月例祈願法要 15日(水) 13時

- ★鷓鴣月例祭 22日(水) 15時

- 星嶺演奏会・茶論は当面の間休止

◎ご祈禱・御回向等のお申込はFAX・メールでも受け付けています

○諸行事は社会情勢により変更する場合があります

◎写経はご自宅でもできます お問い合わせ下さい

○出会いの鐘巡りは「ひらがなあつめ」に代えて実施中

○登山カード押印は休止

○送迎車の運行は休止

◆ケーブル&リフトは冬期運休中 詳細は能勢電鉄へお問い合わせ下さい。 TEL072-792-7716

新年を迎えて

日慧

一年経つのがなんと早く感じることでしょう。学生時代の友人も同じことを言っていました。

「もういくつ寝るとお正月……」

子供の頃は楽しいお正月を前にして、早くこの日が来ないかと思っても中々その日にならない、待ち遠しい思いにジリジリとすることもありました。それが今は、もう一日いやせめても一時間欲しいと思うこともしばしばです。

子供の頃と違って、片付けなくてはならない仕事が増えたということもあるのでしょうか。でも先日テレビでは、子供は好奇心が旺盛で、何によらず興味を持ってみる。対して、歳を重ねると感動を持つことが少なくなってきたためだと説明していました。

たしかに何事にも興味を持って取り組むと一つひとつの見聞も充実し、深い感動を胸に起こして取り組めば充実した時間を過ごすことができ、ふと我に返ってまだ時間が少ししか経っていないと気付くことになりました。同じ一日でも長い一日になることでしょう。

成るほど年齢とともに感動することが減ってきていても、以前にも食べたことがあれば、初回ほどの感動は湧いてきません。美しい光景を眼にしても、初めて接したときの感動とは違います。大人になるに従って素直な心が失われていくのかと思うと、ちよつと寂しくなります。

しかし、この世には、まったく同じことの繰り返しはありません。仏教では諸行無常、万物は常に変化して少しの間もとどまらないといえます。今見ている光景

は、十年前と似てはいても違うものですし、十年後にも同じ光景が続くものではありません。昨日の続きが今日ではないし、今年去年とは違うのです。振り返って見れば去年は不安定な世界情勢の中、悲喜交々の出来事が去来した一年でした。新たな年を迎え、平和で誰もがのびのびと暮らせる世界の實現と、皆々様のご多幸をお祈り申し上げます。

卯年

今年卯の年。卯という字は門が開かれた様子を表します。卯の刻といえは午前5時から7時、日の出の頃です。門が開かれ、昇り来る太陽に照らされて新たな世界の始まりが予感されます。

《法華經に学ぶ現代》

〜純智庵〜

塵穢を澡浴し

一年三百六十五日

あつという間に過ぎるけど

月日であつた塵ほこり

そこで年末大掃除

心を清め身も浄め

すっきり迎えたお正月

誓う言葉は今年こそ

それでいいのさ人生は

未来が君を待っている

内外俱に

浄くすべし

『安樂行品第十四』

仏教まめ辞典

善哉

辞書には「汁粉の一種。関西では、つぶし餡の汁粉。関東では、栗餅・道明寺餅・白玉餅などに濃い餡をかけたもの」などとあり、甘党の人にとっては思わずゴクリと喉を鳴らしたくなります。

でも、お経では「善きかな」と読み、仏さまが善いと感じてほめるときの言葉を表し、「それでいいのだよ」と絶賛する意味になります。

法華經宝塔品では、釈尊が法華經を説かれたとき、宝塔が地中から涌きだし、天人が花を降らし、人々が香を焚き音楽を奏（かな）でてこの塔を供養します。すると宝塔の中から多宝如来が大音声で「善哉、善哉、釈迦牟尼世尊（略）妙法蓮華經を以て大衆のために説きたもう（略）所説の如きは皆是真實なり」と釈尊の説法つまり法華經の正しさを証明されるという場面が描かれています。